

# くろつち便り

## 今月の内容

被爆者追悼祈念集会(8/9)／金曜集会(8/2)  
 家族訴訟問題・徳田弁護士講演会(8/23)  
 共助会教育講演会(8/24)／野草折々-28-  
 くろつち会作品展／支部大掃除(7/27)  
 (ほっとする話)奇妙なおじさん／他



↑会報QRコード

## 第74回広島・長崎原爆被爆者追悼祈念集会

8月9日、毎年イベント前広場で祈念集会をしています。今年は精霊の涙雨が落ちてくる中、行われました。

(松下代表)安倍はこの7年間何をしてきたのか。参院戦では辛うじて改悪できない状況を作れたが、予断を許さない。



(上園さん)親父は抑留された。上の人達が自分たちの安泰のために、裏取引をして軍人が抑留された。今と同じで、頭のいい人達は国民のことは考えない。



(野間さん)この前の肝付町での「核のゴミ講演会」は40名ぐらいたくざいを目指していたけど、80名ぐらいたくざい集まりました。「拒否条例」をせび鹿屋でも取り組んでもらいたくざい。

原爆投下の時刻11時2分、遠くからサイレンの音が響いてきました。それに合わせて、全員で黙禱を捧げました。



サイレンの音に合わせて全員で鎮魂の黙禱

### 茶園さんの感想

(茶園さん)広島市長は広島に中国電力本社があるせいか、反核は言うが、反原発は言わなかった。



上山四郎さんが「来年も継続していきますので、みなさん元気で」と会を締めくくりました。(文責 榎園)



(上山陸三さん)1981年「大隅市民の会」を結成。その10年後から毎年この日に、祈念集会を開いてきました。

(柴上市議)8月6日の広島での総理の挨拶には、心がこもっていませんでした。



## 家族訴訟が問いかけるもの

24日、敬愛園公会堂で「共に歩む会」発足20周年を記念して、徳田靖之弁護士が表題について講演されました。先生の話では、親や家族がハンセン病と分かると普通の「家族」を築けず、18年前にあの画期的な熊本地裁判決があったにも関わらず、離婚など今も精神的苦痛を強いられている人達が多いそうです。少なくとも60年以降には国が何か施すべきところ、何もしてこなかった作為義務違反、そのことが差別を助長してきたわけです。18年前の判決では、社会の加害構造を解明していなくて、そのために、黒川温泉宿泊拒否事件が象徴的ですが、社会の中に偏見差別が残ったままになっていました。いじめの一番

24日、敬愛園公会堂で「共に歩む会」発足20周年を記念して、徳田靖之弁護士が表題について講演されました。先生の話では、親や家族がハンセン病と分かると普通の「家族」を築けず、18年前にあの画期的な熊本地裁判決があったにも関わらず、離婚など今も精神的苦痛を強いられている人達が多いそうです。少なくとも60年以降には国が何か施すべきところ、何もしてこなかった作為義務違反、そのことが差別を助長してきたわけです。18年前の判決では、社会の加害構造を解明していなくて、そのために、黒川温泉宿泊拒否事件が象徴的ですが、社会の中に偏見差別が残ったままになっていました。いじめの一番



「人間ってすばらしい」

「人間ってすばらしい」や多くの方々と出会って「人間ってすばらしい」ということに気づかされたことだそうです。また全面解決には至っていませんが、内容の濃い講演でした。

最後のハンセン病問題を通して学んだこととして、一つ目は、救うという意識の差別性です。「救う」という中に「自分は差別される側ではない」という心があり、そこに差別の萌芽があるという、これは身につきまされました。二つ目は、上野さん

## 7/27 支部大掃除

今年の支部大掃除は、参院選が絡んで、例年からすると、1週間遅れでした。現職組は、えびの集会か何かで、また退職組も忙しい人が多く、事前に済ませた方もいたのでしょうか。当日はいつもよりは人数が少なめ。それでも2時間後には、支部もすっきりした姿になりました。ただ数十メートル先の駐車場は、もう少し手入れが必要かな。



11月1～5日の作品展に向けて、準備が進んでいます。出品を予定している方、まだ出品票を出していない方、事務局長の野間さんまで連絡ください。TEL 080-5257-0311

### 作品展出品



## 反戦反核を目指して

8.9追悼祈念集会の他にも、次のような行動をしてきました。

- KC130訓練飛行反対集会  
 7/30 8/2 集会所に中止の連絡  
 8/23 14時 中止(新聞報道)  
 8/28 20時~21時、中止(市HP)  
 7/31 OSPRAY配備反対集会

選ばれた人達30名ほどがオスプレイ見学。但し騒音の激しい場面を体験するのではなく、負の情報は公開されず。

8/2 久々の金曜集会。平和を

憲法を守れ！と訴えました。次回  
は9月6日です。



子ども達

大久保小学校(新宿)は、親の都合で日本で暮らす子ども達を多く受け入れているという。そこでの先生の実践を踏まえての講演でした。「だれもが共に泣き、共に笑いあつ、そんな世の中が来ないものか(善元)」を元として、子ども達

に自国の文化を大切にすることを意識を持たせようとしていて、まさに多文化共生教育です。印象的だったのは「日本の教育がだめになったのは、法律で『学力』を決めた時からだ」という指摘。そんな学力ではなく、これからは「教える」から「学び」へ、つまり「どうやって学ぶか」が大切だと話されました。

例えば一陸に進出した鯨はなぜ海に戻ったのかの授業はいい例で、授業を通して、自分の将来を自ら考える大切さを考えさせていました。

子ども達の詩も紹介されました。子ども達の思いをくみ取り、子ども達の言葉を大切にしてもらえるなあ、という感じでした。そのことが、多文化共生教育のベースになるんだらうと思います。

(文責 樋園)

## 共助会講演会

23日、共助会の講演会。講師、善元幸夫先生(東京大学非常勤講師)、演題は「おもしくろ(おもしろい学校じゃない)でした」。

共助会百周年記念行事の一つといつことでしたが、百名を超えて参加者の中、飯山さんら、くろつち会員も多かったです。(参加者匿名)

に自国の文化を大切にすることを意識を持たせようとしていて、まさに多文化共生教育です。印象的だったのは「日本の教育がだめになったのは、法律で『学力』を決めた時からだ」という指摘。そんな学力ではなく、これからは「教える」から「学び」へ、つまり「どうやって学ぶか」が大切だと話されました。

例えば一陸に進出した鯨はなぜ海に戻ったのかの授業はいい例で、授業を通して、自分の将来を自ら考える大切さを考えさせていました。

子ども達の詩も紹介されました。子ども達の思いをくみ取り、子ども達の言葉を大切にしてもらえるなあ、という感じでした。そのことが、多文化共生教育のベースになるんだらうと思います。

## ほっとする話「奇妙なおじさん」

犬を飼うのはもうこりごりと言う妻には内緒で、犬を探していた。捨て犬でもいい。遠方の保健所には保護された犬がいるのだが、近くの保健所にはなかなかいない。

ところが運よく、昨年夏の終わり、笠野原の人から犬をもらい受けることができた。連れ合いももう諦め顔。ダップー、当時5才の超小型犬。

ミニチュアダック  
 スフントとトイプードルとの交雑種、ま



さしくlapdog(ラップドッグ)膝犬)である。落ち着きがなく、お手もできない。餌で釣って、ようやくお座りできるようになった。餌を持って行くと、喜びを全身で表して「お座り！」と言うまでぴょんぴょん飛び跳ねている。名をクル、改めクロ。遊びたいという意思表示だが、尾を振りながら、困ったことに誰にでも吠えながら駆け寄る。

ほら、クラスに10人いたとして、必ずこんな天真爛漫、落ち着きのない子が一人や二人いたもんでしょ。ところがそんな子、妙に可愛いもんで、このクロもそうだ。

1日に4~5回、1回当たり十分程度、外に連れ出す。ぶつぶつ小犬に話しかけながら、主客転倒、小犬に引っ張られ振り回され、右に左に、前に進んだり後戻ったり、登下校中の子には「奇妙なおじさん」と思われているに相違ない。そう思われても平気な年になったということだろう。

どう思われようと、禅語の「心外無法(しんげむほう--気持ちは自分次第だ)」の心境だが、部屋に籠もりつきりになりがちな自分としては、息抜きのつもりでいる。

・・・さて、そろそろ息抜きタイムかな。(文責 樋園)

## 野草折々-28-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ。今回は、

### タカサゴユリ (ユリ科)

テッポウユリにそっくりな台湾原産のユリ。戦後、内之浦あたりで見かけられ、内之浦百合とも呼ばれていた。繁殖力が強く、いまでは何処でも見られるようになった。

写真は2019年8月20日鹿屋市川西町

